

【 主 の 晩 餐 】

- # パンとぶどう酒が主の祭壇に運ばれてきます。
ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、辱められた主イエスが
ゴルゴダの丘まで十字架を負って歩まれた【主の道行き】を記念しましょう。
お座りになったままで、讃美歌 191 番、1 節、4 節を賛美します。
- 1 . いともとうとき 主はくだりて、血のあたいもて 民をすくい、
きよき住居を つくりたてて、そのいしずえと なりたまえり。
4 . 世にのこる民 去りし民と ともにまじわり、神を仰ぎ、
永久のやすきを まちのぞみて、君の来ますを せつにいのる。

* パンとぶどう酒を供える祈り（黙禱）

- # 神よ、あなたは万物の造り主、
ここに供えるパンとぶどう酒は あなたからいただいたもの、
大地の恵み、労働の実り、
わたしたちの いのちの糧となるものです。

このパンとぶどう酒の神秘によって わたしたちが、
人となられた方の神性にあずかることができますように。

神よ、悔い改めるわたしたちを、
きょう み心に適ういけにえとして受け入れてください。

* 奉納祈願（ 教会暦による祈禱 ）

* 奉 献 文 —感謝の祈り—

叙 唱

- # 聖なる父、全能 永遠の神、
あなたの偉大な業をたたえ、いつも感謝をささげます。
あなたは唯一のまことの神、初めもなく終わりもなく、
すべてを越えて光り輝く方。
溢れる愛、いのちの泉、万物の造り主。
造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。
おびたしい天使たちは昼も夜も あなたに仕え、
栄光を仰ぎ見て絶え間なく ほめたたえます。
私たちはこれに声を合わせ、すべての造られたものとともに、
あなたをたたえます。

(一 同) 聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな 万軍の神なる主。
主の栄光は全地に満つ。
いと高き所にいます 主なるあなたに栄光。
ほむべきかな 主のみ名によって来たるもの。
いと高き所に、ホサナ。

聖別の祈り (ささげものの上に手を延べて唱える)

父よ、聖霊がこのささげものを貴いものにしてくださいますように。

(手を合わせる)

キリストが永遠の契約としてわたしたちに残された
この偉大な神秘を祝うために、

(パンと杯の上に十字架のしるしをしながら唱える)

主イエス・キリストの
御からだと 御血になりますように。アーメン。

制 定 語

わたしは、主から受けたことを、また、あなたがたに伝えたのである。
すなわち、主イエスは、渡される夜、

(パンを手にとって続ける)

パンをとり、感謝してこれを裂き、そして言われた。

(少し頭を下げて唱える)

「これは、あなたがたのための、わたしの体である。
わたしを記念するために、このように行いなさい。」

(杯を手にとって続ける)

食事ののち、杯をも同じようにして言われた。

(少し頭を下げて唱える)

「この杯は、わたしの血による新しい契約である。
飲む度に、わたしの記念として、このように行いなさい。」

(続いて唱える)

だから、あなたがたはこのパンを食し、この杯を飲むごとに、
それによって、主が来られる時に至るまで、
主の死を告げ知らせるのである。

信仰の神秘

(一 同) 主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで。

(牧師は両手を広げて唱える)

* 記念と奉獻 (アナムネシス)

私たちはいま、御子キリストの贖いの記念をともに行い、
キリストの死と陰府に下られたことを思い越し、
その復活とあなたの右に上げられたことを宣言し、
栄光のうちに来られることを待ち望んで、全世界の救いとなる
この生贄 御からだと御血をあなたにささげます。

* 聖霊を求める祈り (エピクレーシス)

聖霊によってわたしたちがあなたに捧げられた永遠の供え物となり、
キリストのうちにあって 一つの体 一つの心 となりますように。
地上を旅する あなたの教会、
あなたの民となったすべての人の信仰と希望と愛を強め、
現代に平和をつくり出すものとしてください。

* 取り次ぎ

父よ、すべての人を心に留めてください。
すべての人のために私たちはこの供え物をささげます。
あなたのすべての民と、あなたを求めるすべての人、
また、キリストの平和のうちに亡くなった人々、
あなただけがその信仰を知っておられる
すべての死者を心に留めてください。
慈しみ深い父よ、あなたの子であるわたしたちすべてが、
あなたの国で約束されたいのちに与ることができますように。

栄唱 (一 同)

キリストによって、キリストと共に、キリストのうちに、
聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、
全ての誉れと栄光が、世々限りなくありますように。アーメン。

交わりの儀

#主の教えを守り、み言葉に従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう。

天にまします我らの父よ、願^{ねが}はくはみ名^{あが}を崇めさせたまへ。
み国を来たらせたまへ。

みこころの天になる如^{ごと}く地にもなさせたまへ。

我らの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日も与へたまへ。

我らに罪を犯す者を我らが赦^{ゆる}すごとく、我らの罪をも赦したまへ。
我らを試みにあはせず、悪より救ひ出したまへ。

国と力と栄えとは限りなく汝のものなればなり。アーメン。

* パン裂き (牧師はパンの一片と杯を取り、祈る)

#今ここに一つとなる主イエス・キリストのからだと血によって、
わたしたちが永遠のいのちに導かれますように。 アーメン。

* 平和のあいさつ

#「イエスは、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時が来たことを知り、
世にいる自分の者たちを愛して、彼らを最後まで愛し通された。」主イエスは
この愛の徴として、夕食の席から立ち上がり、手ぬぐいを腰に巻いて、弟子た
ちの足を洗い、こう言われました。

「主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、
あなたがたもまた、互いに足を洗い合うべきである。」

+ 僕としての主イエス・キリストの奉仕により、神の家族とされた恵みを覚え、
互いに平和の挨拶を交わしましょう。(合唱して「主の平和」と唱え、一礼する)

* 奉仕者の陪餐

司式者とオルガニストが聖餐に与っている間、会衆は

主よ、憐れみ給え(キリエ・エレイソン)

と繰り返し沈黙のうちに唱えてください。

* 会衆の陪餐

* すべて労する者、重荷を負ふ者、我に来たれ、我汝らを休ません。

* それ神はその独り子を給ふほどに世を愛したまへり。

すべて彼を信ずる者の滅びずしてとこしへの生命を得んためなり。

* すべての人を救う神の恵みが現れた。

* 喜び祝い、主に仕え、喜び歌って御前に進み出よ。

主の聖餐はやがて神の国で行う救いの宴の先取りです。

聖餐桌を囲む半円には、目に見えない聖徒たちがいることを覚えましょう。これにより、すでに今 聖なる人々の交わりが目の当たりに表されるのです。食卓を共にする形で罪人が救いの共同体に迎え入れられているのであって、これは人を救う神の愛を誰の目にも最も印象的な仕方で表現しているのです。

パンとぶどう酒は、イエスをキリストと告白し、洗礼を受けた者が与るものです。まだ洗礼を受けていない方は、パンとぶどう酒を取ることはできません。洗礼を受けていない方は、牧師より“祝福”をお受けください。

祭壇に向かって左側の通路から進み出て聖餐に与り、右手の通路から御自分の席にお戻り下さい。

聖餐に与る間、讃美歌第二編 1 番 1 節をくり返し賛美します。最後の方がパンに与りましたら、4 節の歌詞で賛美します。

- 1 . 心を高くあげよう。主のみ声にしたがい、
ただ主のみを見上げて、心を高く上げよう。
- 4 . 終わりの日きたなら、さばきの座を見あげて、
わがちからのかぎりに、心を高く上げよう。

* 感謝の祈り、逝去者との共同記念

主よ、今こそ、あなたはみ言葉のとおり、
この僕を安らかに去らせてくださいます。
わたしの目が今あなたの救いを見たのですから。

——つづいて、その日の「拝領祈願」をささげる。——